作 業 療 法 学 科

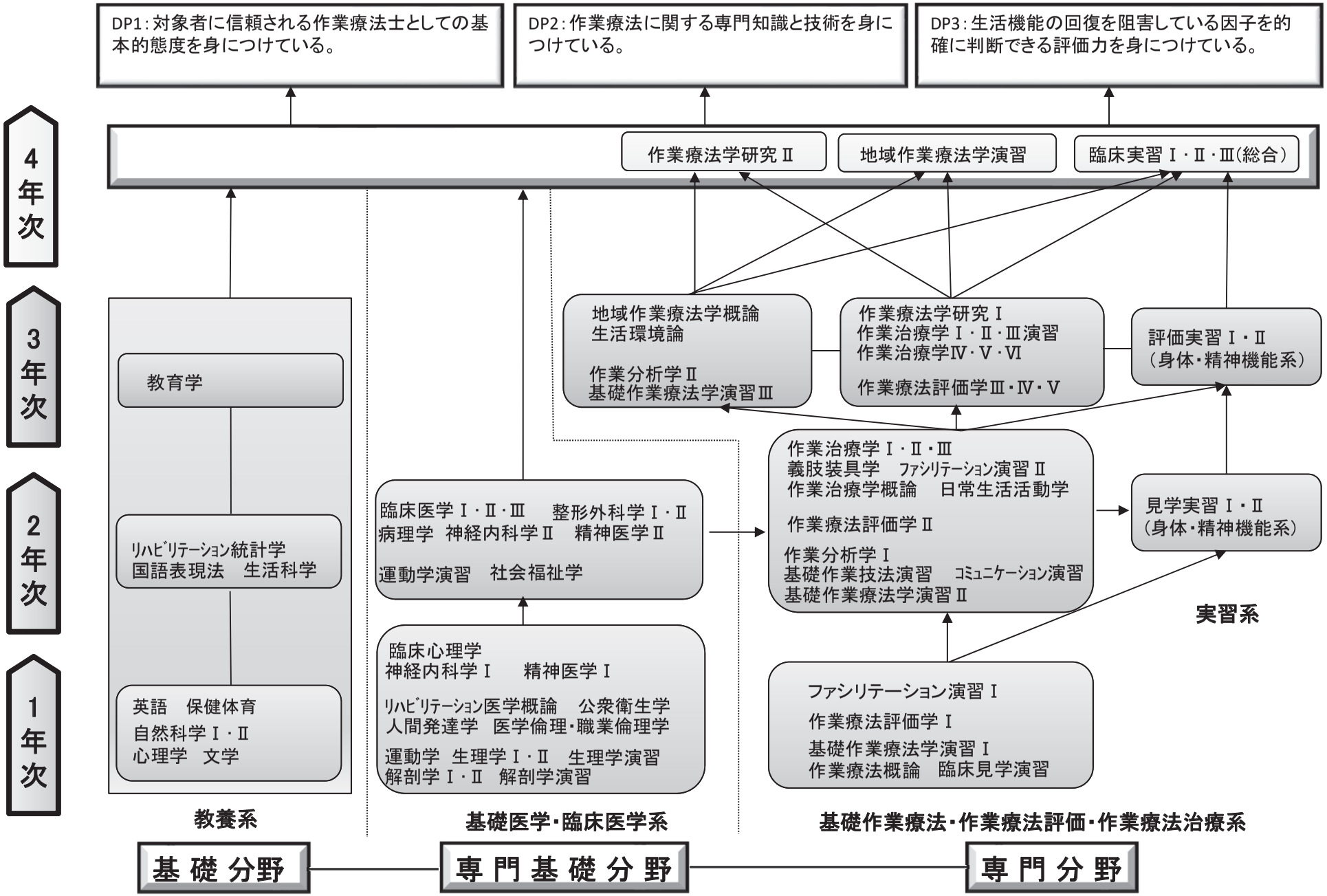
作業療法学科　カリキュラム
〈２・３・４年次〉

分野	教育内容	科目名	１年次		２年次		３年次		４年次		単位数	時間数	備考	厚生労働省基準
			単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数				
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活	心理学	2	30							2	30		
		文学	2	30							2	30		
		国語表現法			2	30					2	30		
		自然科学Ⅰ	2	30							2	30	物理学・数学系	
		自然科学Ⅱ	2	30							2	30	生物学系	
		英語	2	30							2	30		
		保健体育	1	30							1	30	講義・実技	
		教育学					2	30			2	30		
		リハビリテーション統計学			2	30					2	30		
		生活科学			2	30					2	30		14
	基礎分野	小計	11	180	6	90	2	30	0	0	19	300		14
専門基礎分野	人体の構造と機能 及び 心身の発達	解剖学Ⅰ	4	60							4	60		
		解剖学Ⅱ	4	60							4	60		
		解剖学演習	1	30							1	30		
		生理学Ⅰ	4	60							4	60		
		生理学Ⅱ	4	60							4	60		
		生理学演習	1	30							1	30		
		運動学	4	60							4	60		
		運動学演習			1	30					1	30		
		人間発達学	2	30							2	30		12
	疾病と障害の成り立ち 及び 回復過程の促進	病理学			2	30					2	30		
		神経内科学Ⅰ	2	30							2	30		
		神経内科学Ⅱ			2	30					2	30		
		精神医学Ⅰ	2	30							2	30		
		精神医学Ⅱ			2	30					2	30		
		臨床心理学	2	30							2	30		
		臨床医学Ⅰ			2	30					2	30	外科学・脳神経外科学	
		臨床医学Ⅱ			2	30					2	30	内科学・小児科学	
		臨床医学Ⅲ			4	60					4	60	一般臨床医学	
		整形外科学Ⅰ			2	30					2	30		
		整形外科学Ⅱ			2	30					2	30		12
	保健医療福祉と リハビリテーション の理念	リハビリテーション医学概論	2	30							2	30		
		社会福祉学			2	30					2	30		
		医学倫理・職業倫理学	2	30							2	30		
		公衆衛生学	2	30							2	30		2
	専門基礎分野	小計	36	570	21	330	0	0	0	0	57	900		26

分野	教育内容	科目名	1年次		2年次		3年次		4年次		単位数	時間数	備考	厚生労働省基準
			単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数				
専門分野	基礎作業療法学	作業療法概論	1	30							1	30		
		作業分析学Ⅰ			1	30					1	30		
		作業分析学Ⅱ					1	30			1	30		
		基礎作業技法演習			2	60					2	60		
		コミュニケーション演習			2	60					2	60		
		臨床見学演習	1	30							1	30		
		基礎作業療法学演習Ⅰ	2	60							2	60		
		基礎作業療法学演習Ⅱ			2	60					2	60		
		基礎作業療法学演習Ⅲ					1	30			1	30		6
	作業療法評価学	作業療法評価学Ⅰ	2	60							2	60		
		作業療法評価学Ⅱ			1	30					1	30		
		作業療法評価学Ⅲ					2	60			2	60		
		作業療法評価学Ⅳ					1	30			1	30		
		作業療法評価学Ⅴ					1	30			1	30		5
	作業治療学	作業治療学概論			1	30					1	30		
		作業治療学Ⅰ			1	30					1	30		
		作業治療学Ⅰ演習					2	60			2	60		
		作業治療学Ⅱ			1	30					1	30		
		作業治療学Ⅱ演習					2	60			2	60		
		作業治療学Ⅲ			1	30					1	30		
		作業治療学Ⅲ演習					2	60			2	60		
		作業治療学Ⅳ					2	60			2	60		
		作業治療学Ⅴ					2	60			2	60		
		作業治療学Ⅵ					1	30			1	30		
		日常生活活動学			1	30					1	30		
		義肢装具学			1	30					1	30		
		ファシリテーション演習Ⅰ	1	30							1	30		
		ファシリテーション演習Ⅱ			1	30					1	30		
		作業療法学研究Ⅰ					1	30			1	30		
		作業療法学研究Ⅱ							1	30	1	30	卒業論文作成含む	20
	地域作業療法学	地域作業療法学概論					1	30			1	30		
		生活環境論					2	60			2	60		
		地域作業療法学演習							1	30	1	30		4
	臨床実習	見学実習Ⅰ（身体機能系）			1	45					1	45		
		見学実習Ⅱ（精神機能系）			1	45					1	45		
		評価実習Ⅰ（身体機能系）					2	90			2	90		
		評価実習Ⅱ（精神機能系）					2	90			2	90		
		臨床実習Ⅰ（総合）							6	270	6	270		
		臨床実習Ⅱ（総合）							6	270	6	270		
		臨床実習Ⅲ（総合）							6	270	6	270		18
	専門分野	小計	7	210	17	540	25	810	20	870	69	2430		53
		総計	54	960	44	960	27	840	20	870	145	3630		93

作業療法学科カリキュラムツリー

2019.2.15



4　年　次

目次：作業療法学科４年次

作業療法学研究Ⅱ …… 189
地域作業療法学演習 …… 190
臨床実習Ⅰ（総合） …… 191
臨床実習Ⅱ（総合） …… 192
臨床実習Ⅲ（総合） …… 193

学　　科	作業療法学科 ４年次	教育 内容	作業治療学	科目名	作業療法学研究Ⅱ
代表講師	田　中　圭　吾（所属　熊本総合医療リハビリテーション学院）				
授業方法	演　習	単位数	1	学期・回数	前期：15回（30時間）
授業概要 到達目標	・３年次に履修した「作業療法学研究Ⅰ」をもとに，各自の興味ある研究課題について，科学的に課題解決ができる．				
成績評価の方法と基準	研究指導回数（５％），研究計画書（５％），発表時の態度および質疑応答の対応（90％）				
テキスト・教材等	『標準作業療法学 作業療法研究法』				

回　数	授　業　内　容	担当講師
第１回	研究計画書の作成①研究テーマの選定および文献検索	作業療法学科 専任講師
第２回	研究計画書の作成②研究テーマの選定および文献検索	
第３回	研究計画書の作成③研究テーマの選定および文献検索	
第４回	データ収集①担当指導教員からの個別指導	
第５回	データ収集②担当指導教員からの個別指導	
第６回	データ収集③担当指導教員からの個別指導	
第７回	データ収集④担当指導教員からの個別指導	
第８回	データ収集⑤担当指導教員からの個別指導	
第９回	データ解析①収集したデータの整理および統計処理にて解析	
第10回	データ解析②収集したデータの整理および統計処理にて解析	
第11回	データ解析③収集したデータの整理および統計処理にて解析	
第12回	論文発表用資料作成①発表に向けてのプレゼンテーション作成	
第13回	論文発表用資料作成②発表に向けてのプレゼンテーション作成	
第14回	論文発表①発表	
第15回	論文発表②発表	

学　　科	作業療法学科 ４年次	教育 内容	地域作業療法学	科目名	地域作業療法学演習
代 表 講 師	渕　野　浩　二　（所属　熊本総合医療リハビリテーション学院）　・臨床実習指導者				
授 業 方 法	演　習	単位数	1	学期・回数	後期（30時間）
実務経験内容及び授業内容との関連性	病院・施設・行政機関等の臨床現場においてインターンシップに参加し、指導者の下、地域生活支援の内容や連携ならびに作業療法士の役割等について実践を通して学習する。				
授 業 概 要 到 達 目 標	地域における実践を通して作業療法士の役割と課題について知る．また具体的な目標については次に示す通りである． １．地域における利用者への直接的援助活動について説明することができる． ２．地域における組織つくり（ネットワーク作り・連携）について説明することができる． ３．地域における支援的啓発活動に説明することができる．				
成績評価の方法と基準	・実習指導者により作成された実習指導報告書の評価点（70%） ・課題レポート（20%）および報告会の内容（10%）				
テキスト・教材等	配布資料				

期　間	授　　業　　内　　容
１週間	学外実習施設のスケジュールに従った演習. 〈期間〉 2020年 10月26日 ～ 10月31日 ・対象者宅への訪問 ・支援的活動への参加 ・調整会議等への参加 ・施設内でのレクリエーション参加 以上の演習を振り返り課題レポートを作成 「施設機能と作業療法の役割について」 各施設で演習体験したことをグループ別に発表

学　　科	作業療法学科 ４年次	教育 内容	臨床実習	科目名	臨床実習Ⅰ（総合）
代表講師	田　中　圭　吾　（所属　熊本総合医療リハビリテーション学院）・臨床実習指導者				
授業方法	実習	単位数	6	学期・回数	前期（270時間）
実務経験内容及び授業内容との関連性	作業療法士に必要な治療・指導・援助の考え方や方法を身につけるため、病院・施設等の臨床現場において、実習指導者の指導の下、担当症例の作業療法評価・計画・実施を行う。				
授業概要 到達目標	最終学年次における臨床実習では以下の内容を目標にする. １．職業人としての望ましい態度や行動をとることができる. ２．対象者の全体像を把握できる. ３．対象者の作業療法計画を立案できる. ４．対象者へ治療・指導・援助を実施することができる. ５．作業療法の成果を確認し、必要に応じて作業療法計画を見直すことができる. ６．記録・報告をすることができる. ７．管理・運営について理解することができる.				
成績評価の方法と基準	・臨床実習指導者により作成された実習指導報告書の評価点。(70%) ・実習前セミナーの出席状況・提出物、および実習終了後の確認試験。(30%)				
テキスト・教材等	特になし				

期　間	授　業　内　容
７週間	学外実習施設のスケジュールに従った実習 〈実習期間〉 Ⅰ：2020年５月11日～６月27日 ①対象者のOT評価 ②OT評価結果のまとめ ③OT評価結果からの課題焦点化 ④OTプログラムの立案・実施 ⑤OT再評価および最終評価 （その他） ・必要に応じた課題提出 ・施設内勉強会への参加 ・症例発表

学　　科	作業療法学科 ４年次	教育 内容	臨床実習	科目名	臨床実習Ⅱ（総合）
代 表 講 師	田　中　圭　吾　（所属　熊本総合医療リハビリテーション学院）・臨床実習指導者				
授 業 方 法	実習	単位数	6	学期・回数	前期（270時間）
実務経験内容及び授業内容との関連性	作業療法士に必要な治療・指導・援助の考え方や方法を身につけるため、病院・施設等の臨床現場において、実習指導者の指導の下、担当症例の作業療法評価・計画・実施を行う。				
授 業 概 要 到 達 目 標	最終学年次における臨床実習では以下の内容を目標にする. １．職業人としての望ましい態度や行動をとることができる. ２．対象者の全体像を把握できる. ３．対象者の作業療法計画を立案できる. ４．対象者へ治療・指導・援助を実施することができる. ５．作業療法の成果を確認し、必要に応じて作業療法計画を見直すことができる. ６．記録・報告をすることができる. ７．管理・運営について理解することができる.				
成績評価の方法と基準	・臨床実習指導者により作成された実習指導報告書の評価点。（70%） ・実習前セミナーの出席状況・提出物、および実習終了後の確認試験。（30%）				
テキスト・教材等	特になし				

期　間	授　業　内　容
7週間	学外実習施設のスケジュールに従った実習 〈実習期間〉 Ⅰ：2020年７月６日～８月22日 ①対象者のOT評価 ②OT評価結果のまとめ ③OT評価結果からの課題焦点化 ④OTプログラムの立案・実施 ⑤OT再評価および最終評価 （その他） ・必要に応じた課題提出 ・施設内勉強会への参加 ・症例発表

学　　科	作業療法学科 ４年次	教育 内容	臨床実習	科目名	臨床実習Ⅲ（総合）
代 表 講 師	田　中　圭　吾　（所属　熊本総合医療リハビリテーション学院）・臨床実習指導者				
授 業 方 法	実　習	単位数	6	学期・回数	前・後期（270時間）
実務経験内容及び授業内容との関連性	作業療法士に必要な治療・指導・援助の考え方や方法を身につけるため、病院・施設等の臨床現場において、実習指導者の指導の下、担当症例の作業療法評価・計画・実施を行う。				
授 業 概 要 到 達 目 標	最終学年次における臨床実習では以下の内容を目標にする. １．職業人としての望ましい態度や行動をとることができる. ２．対象者の全体像を把握できる. ３．対象者の作業療法計画を立案できる. ４．対象者へ治療・指導・援助を実施することができる. ５．作業療法の成果を確認し、必要に応じて作業療法計画を見直すことができる. ６．記録・報告をすることができる. ７．管理・運営について理解することができる.				
成績評価の方法と基準	・臨床実習指導者により作成された実習指導報告書の評価点。（70%） ・実習前セミナーの出席状況・提出物、および実習終了後の確認試験。（30%）				
テキスト・教材等	特になし				

期　間	授　業　内　容
７週間	学外実習施設のスケジュールに従った実習 〈実習期間〉 Ⅰ：2020年８月31日～10月17日 ①対象者のOT評価 ②OT評価結果のまとめ ③OT評価結果からの課題焦点化 ④OTプログラムの立案・実施 ⑤OT再評価および最終評価 （その他） ・必要に応じた課題提出 ・施設内勉強会への参加 ・症例発表